

九州ネット



九州体育・保健体育ネットワーク研究会

鹿児島開催（鹿児島黒豚ラウンド） H28. 8. 20（土） 鹿児島県民交流センター

例年になく暑い日が続いている今年。鹿児島も連日35度以上の猛暑日で、当日もうだるような暑さでしたが、県内外から18人の方々に参加いただき、本年度5回目の九州体育・保健体育ネットワーク研究会<鹿児島黒豚ラウンド>を開催しました。様々な行事と重なり、少ない人数での開催となりましたが、体育に対する情熱をもった仲間との出会い・再会に、感謝の一日でした。

夜は、「九州一」(?)の「サマーナイト花火大会」会場近くで、情報交換会。残念ながら、「花火を見ながら」とはいきませんでした。花火の音を聞きながら、一層の親睦を深めることができました。

1 トピックス：「スポーツの価値を考えるためのヒント」

桐蔭横浜大学 佐藤 豊 教授から、次期学習指導要領の方向性等について情報をいただいた後、本日のワークショップ「スポーツの価値を考える」授業づくりについて、理論的内容と手順等について指導していただきました。

運動やスポーツに対して、「嫌い」「苦手」など後ろ向きな思いを抱いている子供に、「スポーツっていいな」「スポーツって素晴らしいな」という思いをもたせ、前向きにさせるにはどうすればいいか……。思いを巡らせながら佐藤教授の話をお聞きしました。



【佐藤教授によるトピックス】

2 ワークショップ：「スポーツの価値を考える」

小学校グループ3班、中学校グループ1班に分かれ、「スポーツの価値を考える」授業づくりとして、単元構造図づくりに挑戦しました。

公益財団法人日本アンチドーピング機構（JADA）のテキストを参考に、各グループで、苦しみながらも熱く協議しました。



小学校：体育6学年「ボール運動」の授業



小学校：体育4学年「ゲーム」の授業

小学校グループでは、学級活動の授業づくりに1グループ、体育の授業づくりに2グループが挑戦、中学校グループは体育理論の授業づくりに挑戦しました。

リオデジャネイロオリンピック開催中でもあり、オリンピックでのエピソードを活用し、子供たちに「スポーツの価値」に気付かせ、自分たちの意識や態度の向上につなげていく授業づくりについて、悩んでいるグループも……。

「時間内に、形になるだろうか・・・」という不安が過ぎりましたが、話し合いが深まるにつれ、だんだんと授業のイメージが湧いてきました。



小学校：学級活動6学年「運動会に向けて」の授業



中学校：保健体育1学年「体育理論」の授業

3 成果物の発表とまとめ

ワークショップの終盤で、各グループの成果物を見合いながら情報交換を行い、その後、他のグループからの意見を参考にして、単元構造図を仕上げ、グループの代表が全体に発表しました。実際に授業で活用するには、まだまだ精査の必要がありますが、どのグループの単元構造図も、今後「スポーツの価値を考える」授業づくりを行う上で、大きな手がかりとなるものでした。



各グループを回っての情報交換



成果物を提示しての各グループの発表

4 おわりに・・・

最初に記したように、今回の「鹿児島黒豚ラウンド」は、様々な行事と重なり、なかなか参加者が集まらないという中での開催でしたが、佐藤教授から「人数が少なくても、こういう研究会を続けていくことが大切だ。」というお言葉があり、事務局としては、大変ありがたく、感謝しました。

佐藤教授をはじめ、福岡県の井上先生、広島県の清田先生、大分県の岩崎先生、佐賀県の高木先生を、県外からお迎えし、鹿児島県内からは13人が参加しての今回の鹿児島黒豚ラウンド。事務局の至らぬ部分も多く、御迷惑も多々おかけしたと思いますが、私にとっては、夜の情報交換会も含め、大変貴重で、素晴らしい一日となりました。今後も、この「九州体育・保健体育ネットワーク研究会」のつながりを大切にしていきたい、そう実感することでした。そして、次年度の「鹿児島黒豚ラウンド」は、もっと盛り上がり、充実した一日になるよう、事務局も頑張ります！

ワークショップに必要な資料や道具等を準備してくださった鹿屋体育大学の梶先生、下大迫先生、テキストをお送りくださったJADAの高須さん、ありがとうございました。

そして、今回御参加いただいた皆様、ありがとうございました！！

(報告：山口)

